

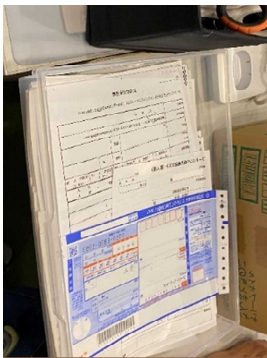
★News Five Star★

満天(満点)の星に、願いを込めて。

フードバンクを知っていますか。

フードバンクは「**食べ物の銀行**」という意味で、まだ食べられるのに様々な理由で余ってしまった食べ物をたくさんの会社や家庭から引き取り、食べ物に困っている人たちや施設などに無料で届ける活動です。

・フードバンクの一日



1.届いた依頼状を職員さんが整理するところから始まります。

依頼状には支援先の家族構成、IH.ガスコンロや電子レンジなどの調理器具の有無、食品の受け渡し方法の希望などが書かれています。



2.ボランティアの方と話し合いながら箱に食品を詰めていきます。

ここで、この施設でボランティアをしてくださっているご夫婦に少し話を聞いてみました。

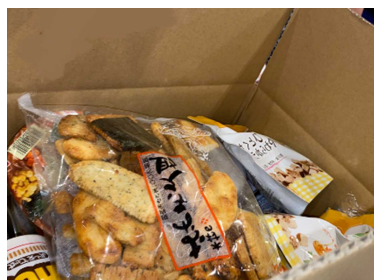
Q. この活動を始めたきっかけは何ですか？

A. 夫の定年をきっかけに、以前から興味のあったボランティア活動を始めてみようと思ったからです。

Q.箱に詰める食品の中で一番多いカテゴリーは何ですか？

A.特に「これが多い」とはっきり言えるものはありません。

なぜなら、依頼状には届けてほしい食品を記入する欄があり、基本的にはその欄に書かれた食品を優先して箱に詰めていくからです。また、箱の容量が余った際は、野菜ジュースなど体のことを考えた食品を入れたり、支援先の家庭にお子さんがいらっしゃる場合、お菓子を入れてあげたりと、「ただ食事する」だけでなく、「体や心のことも考えながら食事できる」生活を支援しています。



3.希望にそった方法で食品を渡していきます。

受け渡し方法は二種類。宅配で届けるシステムと、フードバンクの施設まで直接取りに来てもらうシステムがあります。



※

イラストはイメージです。

このようにして、フードバンクの一日は忙しく回っています。

それは僕たちがこれまで知らなかった世界でした。

しかし、見て見ぬふりをしてはいけません。

食べ物が足りていない人たちがたくさんいる一方、世界では9億人の子供を救える食べ物が捨てられています。

この矛盾はとても深刻で、日本も他人事^{ひとごと}ではありません。

あなたにもできることはあります。

買い物に行く前に冷蔵庫の中にあるものを確認する、好き嫌いせず残さず食べるなど、フードロス削減に自分が協力できることをまずは探しましょう。

一人一人ができることをして、この星の明日^{あふり}を笑顔にしませんか。